

# 組合そくほう

信 州 大 学 教 職 員 組 合

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>

全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>

信州大学教職員組合事務局

直通電話：0263-33-0933 (FAX 兼用)

内 線：811-2341

メ ー ル：akarenga@kbf.biglobe.ne.jp

通算 922 号 2023 年 6 月 5 日発行

## 第 63 期中央代議員会を開催しました

5 月 15 日（土）に第 63 期中央代議員会をウェブ会議で開催しました。

第 62 期の活動報告の主なものは次の通りです。

A) 電子ジャーナル契約タイトルの見直しについての問題提起（組合そくほう 915 号）

B) 業務で野外作業をする職員が安全に作業するための活動（組合そくほう 917 号）

・酷暑の中作業する職員から組合に対し情報提供があったため、団体交渉の事前交渉において対応を要求した結果、屋外作業者の安全確保については、各部局が調査し、安全確保のために必要な装備・設備を整えていくことになった。

C) 改正労働契約法による「雇い止め」問題（組合そくほう 917 号）

- ・信大では、73 名の対象者のうち、1 月の就業規則改正によって、58 名が無期転換をした。
- ・雇い止めになる対象者から組合に対して支援要請はなかった。

D) 団体交渉

・物価高に対する特別手当、非常勤講師やアルバイトの労働者の賃上げを求めたが、受け入れられなかった。

・労働協約において印鑑がつかれていない「苦情処理に関する労働協約」について、正式な協約にするよう求めたが、受け入れられなかった。

E) 合同職場別懇談会（組合そくほう 921 号）

2 月 20 日（月）に、合同職場別懇談会（合同職懇）をオンラインで開催した。最近の大学設置基準改正で認められた「基幹教員」制度について、全大協委員長の鳥畑与一さん（静岡大学）の話をお聞きした。

62 期の活動を引き継ぎ、63 期は以下の事項に取り組んでいきます。

A) 労働条件の改善

- ・人事院勧告への対応
- ・地域手当、特別手当の要求、非常勤講師やアルバイトの労働者の時給引き上げ、ボーナス支給

B) 育児短時間勤務や短時間勤務へのテレワークの導入

C) 70 歳定年について

D) 男女平等・マイノリティの権利保障

## E) 大学自治

- ・ 基幹教員制度への対応
- ・ 教員を研究重点教員と教育重点教員にわけようとする制度への対応



# 中央執行委員長 就任挨拶

第 63 期信州大学教職員組合

中央執行委員長

繊維学系 小山 俊樹

本年度、信州大学教職員組合の執行委員長を務めさせていただくことになりました。長年本学に勤務している中で組合員として幾度か支部の委員を拝命してきましたが、この様なタイミングで大役を仰せつかることとなり誠に恐縮です。その責任の重大さを痛感しております。本組合の活動についての経験や認識が不足しており、委員の皆様には様々にご迷惑をおかけすることと存じますが、皆様にご指導いただきながらしっかり学びつつ、取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度に入り、コロナ前の状況に戻りつつあるように思いますが、様子を見極めつつ事業を進めてまいりたいと思います。

昨年度は第 62 期の執行委員の皆さんの熱心な活動によりまして、電子ジャーナル見直し問題、10 年任期問題、屋外作業に従事する教職員の労働環境改善などの成果を達成されました。

今年度第 63 期は、教職員の賃上げ、育児短時間勤務や短時間勤務へのテレワークの導入、70 歳定年について、男女平等・マイノリティの権利保障、大学自治、労働協約のリニューアルなどに取り組んでいく予定であります。

また、上記の活動のほかに、日頃の身近な職場の気になる点などにも取り組んで参りたいので、些細なことでもご連絡をいただければ、少しでも改善につながるよう努めてまいりたいと思う所存です。

一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 第 63 期 (2023 年度) 信州大学教職員組合 役員

執行委員長：小山俊樹（繊維） 執行副委員長：錦織広昌（工学） 事務局長：成澤孝人（経法）

中央執行委員：井田秀行（教育）市川富士人（繊維）窪田寛之（病院）酒井悟（工学）

竹内あかり（理学）天谷健一（教育）常盤哲也（理学）分藤大翼（全学教育）三木 敦朗（農学）

会計監査委員：清水まさみ 塚田理絵